

第52回卒後研修講座 研修会報告

日 時	2026年 5月 30日 (土) ・ 5月 31日 (日) いずれも10:00~15:35
場 所	神戸薬科大学 ラーニングシアターA301 (A棟3階)
テ ー マ	超高齢社会で薬剤師に期待されることとは？ －薬物療法からヘルスサポートまで－
受講者数	1日目 70名 / 2日目 76名
認定単位	合計6単位



本年度は「**超高齢社会で薬剤師に期待されることとは？
－薬物療法からヘルスサポートまで－**」をテーマに様々な分野でご活躍されている先生方にご講演いただきました。

卒後研修講座は、薬剤師の皆様の継続的な学びの場として開催しております。今後も社会のニーズに応じた研修内容の充実に努め、より有意義な研修会の開催を目指してまいります。

5月30日(土)

第1講義(10:00~11:30)

老年薬学アップデート
~4つの報告~



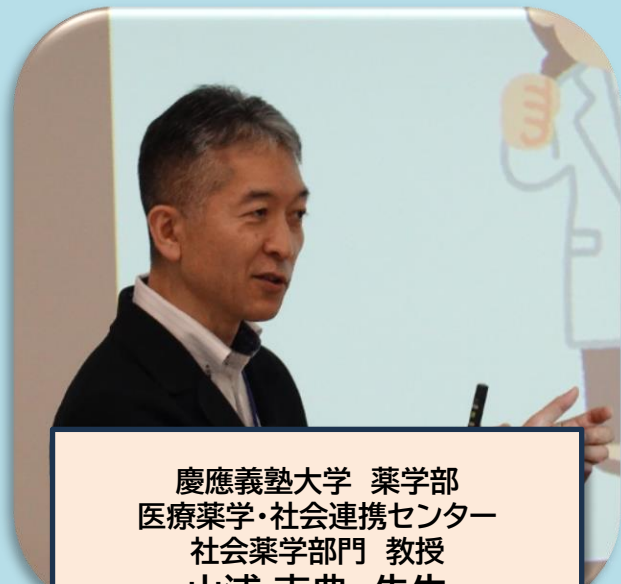
大阪大学大学院医学系研究科
保健学専攻 看護実践開発科学講座
老年看護学教室 教授
竹屋 泰 先生



神戸薬科大学
疾病予防学研究室 教授
田中 佐智子 先生

第2講義(12:20~13:50)

【トピックス】
リアルワールドデータを
活用した医薬品評価:
薬剤疫学研究の実践と課題



慶應義塾大学 薬学部
医療薬学・社会連携センター
社会薬学部門 教授
山浦 克典 先生

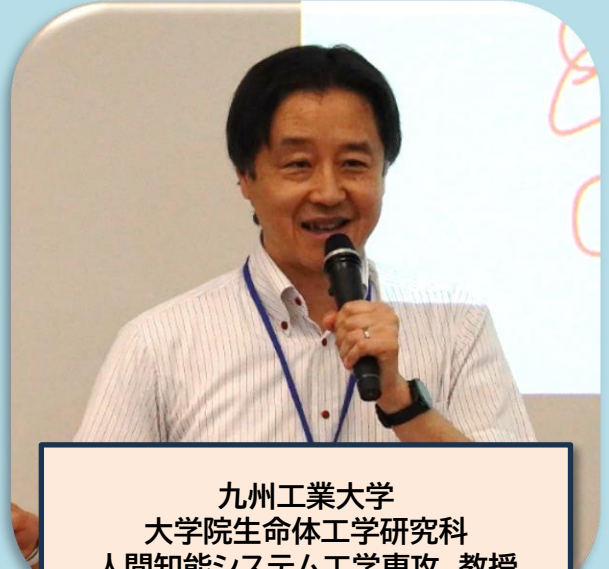
第3講義(14:05~15:35)

薬局薬剤師の健康サポートで
オーラルフレイルを予防

5月31日(日)

第1講義(10:00~11:30)

介護ロボット等テクノロジーの
現状と未来



九州工業大学
大学院生命体工学研究科
人間知能システム工学専攻 教授
柴田 智広 先生

第2講義(12:20~13:50)

老年医学に基づく
高齢者薬物療法の最前線:
ガイドライン2025を読み解く



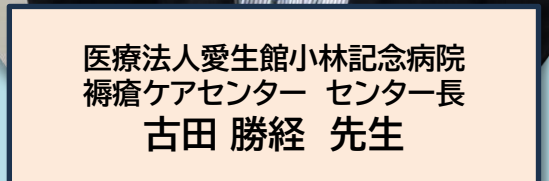
国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
薬剤部/長寿医療研修部
高齢者薬学教育研修室長
溝神 文博 先生



医療法人愛生館小林記念病院
褥瘡ケアセンター センター長
古田 勝経 先生

第3講義(14:05~15:35)

褥瘡・創傷は薬剤師視点で
治る疾患へ
～薬剤師が変われば
褥瘡治療は変わる～



アンケート(抜粋)

- ◆2日間にわたって今後の社会で薬剤師に期待されることを多岐に渡って学べた貴重な2日間でした。ありがとうございました。
- ◆今日の講義をうけて、薬剤師としてまだまだ出来る事があって、それが患者さんの治療に貢献するとともに医療費の削減につながると思った。
- ◆初めて受講しました。良かったです。
- ◆3年目の受講となります。毎年とても勉強になっています。
- ◆非常に勉強になる内容でした。全て。
- ◆(1日目1講目) 関心はもちながら学ぶことが不十分だった領域で、整理された内容をわかり易く講義して頂き、大変有意義でした。これを入りに、もっと学びたいと思います。
- ◆(1日目2講目) レセプトデータなどを元に疾患や薬剤など解析していくことの可能性を知ることができて、とても興味深いと感じました。
- ◆(1日目3講目) 薬剤師の介入で定期受診した人がふえたのはおどろきだった。口の中の悩みをもたれてる方も多いように思う。聞くことが大事だと思う。健康の交番になれるよう努力したいと思います。
- ◆(2日目1講目) 現在使用可能な介護機器と、普及の為の課題のお話が聞けてとても勉強になりました。新しい事に取り組む際の上手く使えるまでの混沌の過程を越えた後の利便性は、何の分野でも活かせる考え方だと思います。
- ◆(2日目2講目) ポリファーマシーが問題といわれるが、その背景を考えることの大切さ、薬の副作用や残薬など広い目線でみる必要があると思いました。
- ◆(2日目3講目) 褥瘡治療の沢山の事例を提示いただき、とてもわかりやすく興味深かったです。下肢の壊死や創傷に対して、切断せずに治癒したケースなど薬剤の特性などをよく理解し使いわけすることで、差が大きく出ることがとても驚きました。薬剤師として、これからの対人業務としても関わることの大切さを学びました。

etc

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。